

令和 2 年度  
部局運営方針  
(振り返り)

令和 3 年 8 月



**The Ambitious City**

## 部局運営方針振り返りとは

当該年度の部局運営方針に対して、年度終了後に振り返りを実施します。

なお、振り返りにおける事業総括の選択肢は以下のとおりです。

### 事業総括選択肢

- a.事業はすべて予定どおりに進捗した、b.事業はおおむね予定どおりに進捗した
- c.事業はあまり予定どおりに進捗しなかった、d.事業はまったく進捗しなかった

## ヒアリング日程

令和3年8月4日（水）及び9月2日（木）

## 目次

企画財政部	01
総務部	02
防災危機管理室	03
市民環境部	04
保健福祉部	06
子育て支援部	07
建設部	08
経済部	09
水道部	11
会計室	12
議会事務局	13
監査委員事務局	14
教育部	15
消防本部	16

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】

- ・第6次総合計画、都市計画マスタープラン、緑の基本計画について、各審議会、議会特別委員会等の審議を行いながら策定することができた。
- ・行財政改革推進事業では、これまでの進捗を整理するとともに、新たに「きたひろ未来創造ビジョン2021・未来創造プラン」の策定することができた。
- ・駅西口エリア活性化事業では、公募型プロポーザルによる事業者選定を行い、パートナー協定を締結することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策では、交付金を活用し緊急経済対策など数次の補正予算を編成し対応した。
- ・ボールパーク構想の推進では、関係機関と協議を継続し、周辺インフラ整備を進めるとともに、機運醸成に向けた取組みも実施した。

## 1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

### 【特記事項】

(1) 市役所庁舎における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

庁舎の利用制限(1F 多目的室・昼食等販売、5F 展望ロビー・市民ギャラリー・イシヤカフェ等)  
 庁舎内予防対策(426千円)

・消毒液、アクリル板、ビニールカーテンの設置 ・マスク着用などの周知ポスターの掲示

(2) 「令和3年度以降における定員管理基本方針」の策定について

令和2年度をもって終了する基本方針の見直しを検討してきたが、現在、国において議論されている65歳までの定年延長や働き方改革の推進などの人事管理に関する制度等の改正や新型コロナウイルス感染症への対応など、職員の定員管理に与える影響が大きい事項が多くあることから、令和3年度以降における定員管理及び職員数について、当分の間、ボールパーク構想の推進業務などを除き、現行の469名を上限とすることを基本とした令和3年度以降における定員管理基本方針を策定した。

(3) 働き方改革の推進について

#### 《時間外勤務時間の縮減》

令和2年度は、各部局において時間外勤務に係る目標時間を設定するとともに、管理職には人事評価において時間外勤務縮減に関する目標を設定するなど、縮減に向けた取り組みを実施し、一般会計においては、10,625時間減少し、前年度比87.2%となった。

	H29	H30	R1	R2
時間外勤務時間数	76,913 h	76,083 h	82,753 h	72,129 h
1人当たり平均時間数	186 h	182 h	197 h	167 h
年間360時間超職員数	58名	40名	46名	41名
時間外勤務手当額	178,673千円	183,237千円	193,211千円	167,425千円

#### 《モバイルワーク環境の整備》

「モバイルワーク環境の実証実験事業」を実施し、臨時窓口の開設や在宅勤務に係る検証を行ったほか、テレワークや庁内会議のペーパーレス化等に対応できるよう、国臨時交付金を活用してモバイル端末の購入や市庁舎における無線LAN用アクセスポイントの増設(1F 研修室・5F 議場周辺)を行った。

## 1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 <危機管理課>

- ・市職員を対象とした防災訓練事業について、従来の訓練のほか組織としての防災力向上を目的に新たに災害対策本部訓練を実施した。
- ・「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に規定する本市の地域計画として、新たに北広島市強靱化計画を策定した。

<災害復興支援課>

- ・ C エリア宅地耐震化対策工事が完成したほか、 A エリア宅地耐震化対策工事にも着手した。
- ・ みどりの里住民集会所代替施設の借上げを継続し、地域コミュニティの復興支援を行った。
- ・ 災害救助法による「みなし仮設住宅」について、状況確認を行い、供与期間内に避難者全員の退去を完了した。
- ・ 平成 30 年北海道胆振東部地震による被災者への支援と生活再建に向けた相談等の対応を継続して行った。

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

### 【特記事項】

#### 市民課

- ◆ 交通安全、防犯及び暴力追放運動の啓発活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から街頭啓発等は殆ど中止となったが、施設への啓発物品の配置などにより啓発を行った。
- ◆ コロナ禍における地域コミュニティ活動維持のため『『新北海道スタイル』に基づく地域コミュニティ活動ガイドライン』を作成し、全町内会・自治会に配布した。
- ◆ 地域コミュニティ施設（地区センター・住民集会所）への備品の整備や修繕を行ったほか、住民集会所の適正配置（集約・複合化・廃止）に向けて管理運営団体に対してアンケート調査を実施した。
- ◆ 北広島団地住民センター・北広島東記念館、ふれあい学習センター（夢プラザ）、広葉交流センター（いこ～よ）の指定管理については、指定管理者の募集・指定を滞りなく実施した。
- ◆ 個人番号カードについては、国から示されたカードの普及に係る方針に基づき、交付事務の増加に伴う人員配置も行い、普及の推進を図った（対前年比4.3倍）。

#### 環境課

- ◆ 地球温暖化対策の推進において、高効率給湯暖房機（16件）、太陽光発電システム（12件）の設置支援を実施した。
- ◆ 環境に関する国際動向や国の動向等を踏まえ、市の新たな環境施策の指針となる第3次北広島市環境基本計画を策定した。
- ◆ 北広島霊園の未利用地について、自由墓地区画として4㎡・256区画の増設を実施した。
- ◆ ボールパークFビレッジの開業やごみ処理広域化に伴う廃棄物処理行政の変化を見据え、一般廃棄物処理基本計画を改定した。
- ◆ 第6期最終処分場の測量及び残容量調査を実施し、令和4年度以降の埋立容量を確保するための運用方針を定めた。

#### 市民参加・住宅施策課

- ◆空き家対策事業については、空家等対策計画の改定を行った。また、空き家に対する苦情や相談に随時対応し、「準特定空家」として認定した物件のほか、改善を要する物件について指導を行った。
- ◆ 住み替え支援事業については、不動産会社、金融機関、UR等と連携して空き家相談会を1回開催し好評を得た。
- ◆ 市民協働推進事業については、公益活動団体との協働指針を改定した。また、公益活動事業補助金については、「北広島市の高齢化の現状と高齢社会におけるまちづくりに関する事業」への補助を行った。
- ◆ 男女共同参画推進事業については、第3次男女共同参画プランの策定及び男女共同参画パネル展を行った。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、例年実施しているフォーラムやセミナーの開催を中止した。

## 1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

### 【特記事項】

令和2年度に重点事項として掲げた15項目のうち、以下の4項目を除く11項目については、ほぼ予定どおりに進捗したものと評価しているが、事業目標を達成できない部分もあったことから、事業総括を(b)とした。

働きづらさを抱える方々への就労支援事業：(d)

ひきこもりやニート等の方を就労につなげ、自立した生活を促進するため、北海道のモデル事業に参画する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、求人が減り、支援対象者の新規受入企業等の開拓が困難となったことなど、北海道が事業の実施を断念したので(d)とした。

避難行動要支援者対策事業：(b)

令和2年度において、個別計画の策定を実施したが、十分な内容で策定することができず、今年度への繰り越しとなったため(b)とした。

障がい者相談支援事業：(c)

日常的に医療的ケアを必要とする障がい児者へのサービス提供体制の充実に向け、関係機関との協議の場を設置することとしていたが、協議することができなかつたため(c)とした。

後期高齢者歯科検診：(c)

後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、歯科検診を実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科クリニックとの協議を終えることができなかったため(c)とした。

## 1 振り返り

【事業総括】(b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 予定通りに実施できたもの

(1) 保育施設の受け入れ態勢の確保

私立認可保育施設の増築補助を行い、令和3年4月から保育定員を拡大することが出来た。(令和3年4月～10人増)

新たに保育士就労支援金事業「きたひろ手当」を開始し保育士の確保に努めた。

(2) 子どもの権利擁護、貧困対策事業

新型コロナウイルスで活動が大きく制限される中、子どもの権利について、周知活動や相談援助を実施するとともに第3期子どもの権利推進計画を策定した。

中学生の塾・習い事の費用の一部を補助する「子ども未来応援事業」を実施するとともに、第2期子ども子育て支援プランの新たな章として子どもの貧困対策計画を策定した。

(3) 学童クラブ関係

環境改善（暑さ対策）を図るため、学童クラブ6か所（北広島、大曲、西の里、広葉、北の台、西部第二）に計13台のエアコンを設置した。

(4) 子ども発達支援センター事業の拡大

北海道の「市町村中核子ども発達支援センター事業」の認定を受け、早期から地域で適切な相談・支援を実施し、子どもの発達促進と家族の不安軽減を図ることができた。(発達相談395件/目標値380件)

関係機関の担当職員への支援や講演会等を開催し、支援者間における情報共有や共通理解を深める機会を設け、地域の発達支援体制の構築を図ることができた。

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

### 【特記事項】

#### (1) 道路整備事業について

市道整備事業については、交付金の削減により、市道南9号線を見送ることとなったが、市道大曲椴山線を中心に概ね計画通り実施することができた。

#### (2) 事業用地の取得について

用地取得については、地権者の都合などにより一部次年度となったケースもあるが、事業進捗に影響を及ぼさず用地取得を行った。

#### (3) 都市公園の整備について

公園施設長寿命化計画に基づき、大曲公園・西の里公園のテニスコート、なかよし公園外4公園の遊具等の更新。また、大曲幸緑地の法面復旧工事を計画通り実施することができた。

#### (4) 橋梁の補修について

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、北進橋、泉陸橋、広葉橋の補修工事を予定通り実施した。

#### (5) 大曲並木地区災害復旧について

北海道胆振東部地震により被災した大曲並木地区の災害復旧については、Cエリアの宅地耐震化工事及び地下水低下工事を実施することができた。

大曲川復旧工事については予定通り完了。

#### (6) 土木事務所移転事業について

土木事務所移転事業については、用地取得・用地確定測量、建築物の実施設計委託及び造成・外構設計など予定通り行ったが、粗造成工事については、本体工事に合わせて令和3年度に実施することとなった。

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

### 【特記事項】

#### <農政課> グリーン・ツーリズム推進事業ほか

- ・グリーン・ツーリズム推進事業については、農園マップを星槎道都大学との連携によりデザインを刷新して発行することができた。また、三島・島松地区における農産物の直売施設や農家レストラン等を農村滞在型余暇活動機能整備計画に盛り込むとともに、同施設の開設に向け支援を行った。
- ・六次産業化等支援事業については、6次産業化に取り組む農業者を対象にマーケティング研修とSNS研修を開催し、情報発信技術の向上と意識高揚を図るとともに、商品開発等事業3件の交付決定を行い、製品化や販路開拓にかかる支援を行った。

#### <観光振興課> 観光振興事業ほか

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各種イベントが中止となり、観光資源を活用した本市のPR、誘客等が困難な一年となったが、他自治体との広域的な連携のほか、都市型観光推進協議会において観光政策の展開に向けた検討を行うなど、今後の観光振興につながる取組を実施した。
- ・感染拡大により、甚大な影響を受けた宿泊施設やゴルフ場等に対して、市民の需要喚起を促すため、都市型観光回復事業（観光版プレミアムチケット）を実施し、市民の利用促進及び消費効果を得た。
- ・臨時観光案内所をJR北広島駅東口、観光案内コーナーをエルフィンパーク交流広場に開設した。電動アシスト自転車レンタサイクルの運営や観光版プレミアムチケットの販売等を実施した。
- ・観光協会法人化に向けて、法人化準備委員会が設置され、自立化に向けた検討が行われた。

#### <商工業振興課> 買物不便者対策事業ほか

- ・買物不便者対策事業は、コープさっぽろとの連携による移動販売について、利用促進のため運行エリアの見直しなどを行ったほか、市内5か所で開催した「買物サービス活用講習会」においてガイドブックの配付やサービス等の説明を行い、地域住民の買い物サービス活用促進に努めた。
- ・創業促進支援事業は、コミュニティビジネスで1件の事業を指定したほか、10月に創業者

や創業検討者、支援機関などを対象に創業フォーラムを開催（33人参加）し、事例発表や意見交換などにより創業機運醸成に努めた。

- ・新型コロナウイルス感染症に係る経済対策は、国の地方創生臨時交付金を活用した融資事業の拡大や支援金事業、会計年度任用職員の任用など、様々な支援事業を実施して市内の事業者や離職者等への支援に努めた。

## 1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

### (1) 「施設の耐震化など」

- 『水道』 西の里旧配水池の耐震補強（2ヶ年工事）に着手（補助金事業）  
 広葉町～栄町の幹線配水管を耐震管へ更新（補助金事業）  
 耐震化率 H30 28.4% R1 29.1% R2% 30.3%
- 『下水道』 処理センター3系水処理棟を耐震補強（交付金事業）  
 西の里ポンプ場の耐震診断を実施

### (2) 「老朽施設の計画的更新」

『水道』 経営戦略に基づく老朽管更新事業について北広島団地を重点的に実施



老朽管更新計画（第1期）概成により新たに第2期計画を策定

老朽化した緑陽配水池の電気計装・機械設備を更新

『下水道』 処理センターの受変電設備更新（2ヶ年工事）に着手（交付金事業）

### (3) 「経営基盤の強化」

水道ビジョンと水道事業経営戦略の統合・改定を実施

水道ビジョンと水道事業経営戦略の統合・改定に先立ち市民アンケートを実施

上下水道事業経営審議会委員を新たに選任し、審議会を4回開催

水道事業及び下水道事業経営戦略の進捗につき事後検証を行い、結果を公表

### (4) 「その他」

下水道課と下水処理センターの組織を改編

下水処理センターの名称を「アクア・バイオマスセンター北広島」へ変更

新型コロナウイルス感染症対策として料金等納期限延期を実施（継続中）

## 1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 入札・契約事務等の適正な執行について

当初執行計画 161 件の建設工事等に対して、最終実績として 172 件（11 件増）の入札を実施し、公平性・透明性を確保しつつ、担当課と調整を図りながら発注時期に影響を及ぼすことなく、適正な契約事務を執行した。

会計事務の適正な執行について

現金の出納及び保管並びに記録管理、小切手の振り出し、支出負担行為に関する確認や決算の調製など、法令に基づく会計事務を執行し、また、「会計事務の手引き」や支出・収入に係る事務処理のポイント等を庁内に周知し、適正な会計事務処理に努めた。

適切な工事審査・検査について

ボールパーク事業などに伴い、工事等の設計・施工に関する審査が当初 104 件に対し最終実績は 133 件と約 3 割の増、検査が 118 件に対し 128 件と約 1 割の増となったが、正確かつ迅速な審査に努め、各工事等の発注時期に影響を及ぼすことはなかった。また、検査についても適切な時期に実施することができた。

## 1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した。

【特記事項】 (1) 行政視察

新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、予定していた建設文教常任委員会及び議会運営委員会の視察を中止した。

(2) 議会改革

議会 ICT 化推進事業として全議員にタブレットを試行として貸与した。  
タブレットは、令和3年第3回定例会から本運用となる。

(3) 議会広報

議会広報第150号（令和2年8月発行）からリニューアルした。  
読み手の読む意欲を引き出すため、詰め込み過ぎないよう紙面全体に余裕を持たせる工夫をした。

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

### 【特記事項】

(1) 「令和2年度北広島市監査実施方針及び年間監査計画」に基づく監査

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月下旬から予定をしていた財政援助団体等監査については、時期の延期も含めて検討したが、最終的に実施を見送ることとなったが、地方自治法等に定められている定例監査、決算審査、健全化判断比率等審査、例月出納検査などは、令和2年度の監査計画どおりに適法性、経済性、効率性、有効性の観点から実施することができた。

(2) 実効性ある監査

前年度の定例監査の結果で指摘した事項が、指摘の趣旨に沿って是正、改善されているかを確認しながら実施をした。

また、指摘事項については対象の課にとどまらず、全部局としての共通認識を図るよう、公記録保管庫に掲載し、周知をした。

#### 令和2年度の監査結果

監 査 名	対象部局	指摘事項の あった部局	指摘件数		
			文書	口頭	計
定例監査	17	14(11)	58(32)	77(41)	135(73)

(3) 開かれた監査

透明性の高い開かれた監査とするため、監査結果の報告や指摘事項の改善措置等について、市のホームページに掲載するなど市民への情報提供をした。

(4) 事務局職員のスキルアップ等

北海道都市監査委員会等が実施する研修会等に積極的に参加し、職員のスキルアップや他市の監査状況など情報交換などに努めることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定されていたすべて(7つ)の協議会や研修会が中止や書面会議となったため、他市との交流などが思うようにできなかった。

## 1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】

(教育総務課)

- ・国庫補助等を活用し、児童生徒用パソコン3,002台、高速大容量のインターネット回線等のICT環境の整備を行うとともに、諸計画を新たに策定し本市のGIGAスクール構想を加速化した。
- ・国の補正予算等を活用し、大曲東小学校校舎大規模改造事業、東部小学校外5校の講堂非構造部材耐震化工事、緑陽中学校校舎・講堂防音機能復旧事業を実施。

(学校教育課)

- ・英語検定等支援事業において、小中学生計313名に検定料を助成。
- ・不登校児童生徒の支援を図るため、適応指導教室みらい塾における学習及び活動を支援する登録ボランティア制度を創設。

(小中一貫・教育施策推進課)

- ・令和3年度からの計画期間である、「北広島市教育振興基本計画(2021-2030)」を策定。
- ・令和3年度開催の「小中一貫教育全国サミット in 北広島」の開催準備を進めた。
- ・大曲・緑陽中学校区において、コミュニティ・スクールを導入。

(社会教育課)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の対策として、代替事業の取組や感染対策をした施設運営を行った。
- ・スポーツ振興計画・北広島市スポーツ施設個別計画等を策定。
- ・障がい者の学校卒業後の学びの在り方の研究事業として国から北海道が受託(3カ年)しているコンソーシアム事業のモデルとして、本市コンソーシアム立ち上げに向け取り組んだ。

(文化課)

- ・新型コロナウイルス感染拡大により約2ヶ月の臨時休館となり、図書館は通常の80%程度、ホールは80%を少し下回る利用状況で、延べ284団体728件の予約が取り消された。
- ・文科省の委託を受け、電子版「小学校社会科副読本・北広島」活用の実践的調査研究事業を実施。

(エコミュージアムセンター)

- ・コロナ対策を行い、まちを好きになる市民大学をはじめ、企画展や講演会等を実施。
- ・史跡旧島松駅通所の大規模改修に向けた保存活用計画については、文化庁の認定に向け調整し、整備基本計画策定1年次目の項目をまとめ、令和3年度の本格的耐震診断に向けての調査を実施。
- ・特別天然記念物野幌原始林保存活用計画策定事業については、指定地の現況調査を実施。

(学校給食センター)

- ・学校給食センターの球根皮むき機更新。新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校日程変更等に対応した学校給食の安定提供や給食費の変更・還付処理、交付金を活用し空調設備等の改修を実施。
- ・防災食育センターは補助事業計画書を国に提出するとともに、防災・食育両面の調査等を実施。

## 1 振り返り

【事業総括】 （b）事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 （消防課）

・平成30年度備荒資金で購入した赤外線サーマルカメラ（1台）、軽量空気ボンベ（2本）、自動体外式除細動器（2器）及び令和2年度備荒資金で購入した水難救助資器材PFD（5着）、軽量空気ボンベ（4本）の未償還代金（令和2年度は利子分のみ）を支払った。

・令和3年度整備予定であった下記資機材を令和2年度防衛省再編関連訓練移転等交付金事業を活用し整備した。

【整備資機材】

ドローン一式、ウェアラブルカメラ一式、軽量空気ボンベ（4本）、墜落制止用器具一式（5セット）

・令和4年度整備予定であった拡声器付面体（5個）を令和2年度防衛省再編関連訓練移転等交付金事業を活用し整備した。

・令和4年度整備予定であった多数傷病者対応資機材（トリアージタッグ、ディスプレイ担架）を令和2年度各補正予算を活用し整備した。

（1）トリアージタッグ3,000枚（第4回定例会に係る補正予算）

（2）ディスプレイ担架100枚（新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算）

（救急課）

・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、救急体制強化事業のうち救急救命士就業中及び就業前病院実習が中止となり、事業目標17名が1名の実施に止まり、応急手当普及啓発事業では、救命講習会等について開催予定回数110回、受講者数2,500人の事業目標に対し実施回数22回、受講者数389人といずれも予定を大きく下回った。

（その他）

・新型コロナウイルス感染症の影響から火災予防運動、歳末警戒、出初式は縮小または中止、各種研修会、講習会、会議はWEB会議や書面会議で実施したものが多かった。